

氏名 池端 敦

所属 岩手県立中央病院

役職 医療研修部長

これまでのキャリア

1988年3月東北大学医学部卒業

1994年3月東北大学大学院医学研究科修了

1994年4月～岩手県立中央病院消化器科（現、消化器内科）勤務

資格等：

東北大学医学部臨床教授（消化器内科）、東北医科薬科大学医学部臨床教授、日本消化器病学会（消化器病専門医・指導医）、日本消化器内視鏡学会（消化器内視鏡専門医・指導医）、日本消化器がん検診学会（認定医；胃・大腸）、日本内科学会（認定内科医）、日本消化器病学会（東北支部評議員）、日本消化器内視鏡学会（東北支部評議員）、岩手県がん診療連携協議会がん登録部会委員、第1回岩手県医師臨床研修指導医講習会受講済、平成30年度プログラム責任者養成講習会受講済、岩手県医療局主催平成24年度医療メディエーター養成研修会基礎編受講済、2014年2月20日岩手県医療局主催医療メディエーターフォローアップ研修（補修修了）受講済

私のもとではこれが学べる

当院初期臨床研修では、プライマリ・ケア能力の向上のため、日常臨床で頻繁に遭遇する疾患群を経験できる救急センターで、屋根瓦式の指導体制により夜間救急勤務、休日救急勤務および2ヵ月間のブロック研修を行っています。また、2ヵ月間の地域医療研修で県立病院の「県下にあまねく良質な医療の均霑を」の精神を実際に研修します。2年間は初期研修に専念しこの間多くの指導医との交流の中で、医師としての人格のかん養を行い、チーム医療のリーダーとしての能力を身につけられるように、努力をお願いします。

教育にかける思い

私自身は、「心」・「技」・「体」いずれにおいても急速な勢いで衰えを感じる年代となりました。若い研修医のみなさんには無限の可能性を感じ、一緒に診療に従事するだけでも大きなパワーをいただいています。当院のスタッフのみならず、地域研修協力病院のスタッフもおそらくは同様な感想を持っているものと思います。

当院の臨床研修プログラムでは、幅広い基本的診療能力を修得できるように毎年のように修正改訂されています。また、岩手県では12の全臨床研修病院が協力病院となり、相互に受入を行ういわゆる「たすきがけ制度」を実施しています。厚生労働省の示す臨床研修の到達目標を達成するために、研修医の希望によりたすきがけ制度を活用できます。

当院は、2013年3月沖縄県立中部病院と友好病院を提携しました。新型コロナウイルス感染

症の収束後は何らかの形で相互交流を深めたいと思います。どのような形がよいのか医療研修部内で検討を始めました。将来的には「たすきがけ研修」を可能にして、沖縄県の臨床研修の良い点を取り入れ、当院で不足している救急専門医や総合診療専門医の養成に寄与できればと考えています。

医学生へのメッセージ

ほとんどすべての医学生は将来何らかの形で医学・医療に従事することになります。今後の医師としての人生は長いようで意外と短いと感じるようになってきます。やりたいことはたくさんあっても、年々できることは少なくなります。本当に自分がやりたい分野を見だし、今やらなければならない事に真剣に取り組んでください。今後のご活躍を祈念いたします。